

実施計画事業名		広報活動事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		総務部地域振興課		課長(主幹)名	布施 茂			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	2	パートナーシップによるまちづくり					
	施策	1	市民の声を活かし開かれた市政を推進します					
	関連施策							
現状と課題	○市民などに、市の目標や個々の施策の意義を理解してもらい、その目標や施策の実現に向けて自らが参加していくような情報環境を作るために広報体制を充実させていく必要がある。○広報と同時に広聴活動が両輪として機能し、市と市民の双方向コミュニケーションを図っていく必要がある。○広報紙の配布に関しては各町内会を通じて行っているが、遅延などの問題があることから、配布方法の見直しの検討が必要である。○情報の提示を積極的に行わないセクションが存在する。○マスメディアとの良好な関係を維持していかなければならない。							
目的	○行政情報の収集・処理・蓄積・伝達を通じて、市が行う施策の目的を効果的・効率的に達成させる。また、市は公衆のために存在し、社会全体の利益に奉仕することを目的としていることから、主権者である市民に対し、行政情報を提示することで、意見や要求を吸い上げ、行政運営に反映させる。○広報を通じて市民や地域社会などの関係するコミュニケーション活動を発展させる。							
5ヶ年展の	〔平成22年度〕 ○広報紙の企画・編集業務の一部をアウトソーシングし、委託先の育成支援などに努める・広報紙の配布方法の検討・地上デジタルテレビ放送に伴い、テレビ広報市民ニュースの充実に向けた検討を行う							
	〔平成23年度〕 ○本市ホームページは、広報媒体の一つとして、内容の強化・充実を図るよう努める・広報保存用動画データの導入を検討する							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	市民アンケート調査による市政情報入手満足度		%	目標	↑	↑	↑	
	説明		22年度よりアンケート項目に加え、22年度の数値を基礎として毎年度目標を設定する。		実績	51.3	50.3	
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	ラジオによる市政情報等の発信回数		回	目標	↑	↑	↑	
	説明		地元コミュニティ放送を利用して情報提供を行った延べ回数		実績	714	652	
	テレビによる市政情報等の発信回数		回	目標	52	52	52	
	説明		市民ニュースの放映回数		実績	52	52	
				目標	-	-	-	
	説明				実績			
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	31,497	31,529	33,333		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	31,497	31,529	33,333		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.50	1.67	1.67		
人件費(B)		千円	10,187	11,613	11,613			
計(A+B)		千円	41,684	43,142	44,946			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 広報紙編集作業の一部は、平成22年度から北星学園大学に委託。 平成24年度「政策調整部秘書広報課」所管。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 広報紙の配布について、町内会を通じて行っているが一部遅延や配布されない等の苦情がある。中途での転入や転居者が町内会では掴みきれない実態がある。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 広報紙の配布について、町内会を通じて行っているが一部遅延や配布されない等の苦情が寄せられており、平成24年3月号から市内セイコーマートに置かせていただくことになった。今後、市民や本市を訪れた方に見ただけよう、人が多く集まる施設に置くようにしていく。
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	B 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 広報紙の編集内容については、地元大学に委託以降、毎月編集会議を開催して構成や写真等を工夫しており、市民からも好評を得ている。今後、さらに市民のニーズにあった情報を提供していく。(北海道広報コンクールにおいて広報写真 組写真・市の部で入選した。)市HPによる動画配信については市民ニュースだけに限定しないものとして再検討する。FM放送については、「ハートフル稚内」「元気はつらつ稚内」に関して行政事務情報を発信する場となっているが、違いがよくわからないところもあり、放送内容の工夫を図る。 各課から広報担当に積極的に情報が集まらず取材に苦慮しているため、市政における広報の役割を市職員に改めて意識してもらう機会を設ける。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	b	コスト効率	a
総合評価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> 現在の取組を継続しつつ、更なる充実を図り、情報発信の強化を図る。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--